

美原区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称				実施主体			
地域による避難所運営検討支援事業				美原区役所自治推進課			
事業目的		事業効果		活動指標	R3	R4	R5
美原区における小学校区ごとの防災対策の進捗状況や今後の課題について、地域住民と区、区と市が相互に継続的に共通認識をもち、また、校区自主防災組織を中核とする自助・共助・公助のバランスが取れた円滑な校区避難所運営を実現するとともに、校区単位の地域のつながりを強化する。		避難所運営上の諸問題や課題などを見出し、行政と地域が一体となり、避難所を運営することの重要性を再確認するとともに、課題解決に向けた体制づくりを推進することができる。また、校区を単位とする地域の住民や事業所同士の顔の見える関係を構築するきっかけとし、地域における自助、共助を推進することができる。		ワークショップや訓練の参加者数(人)	102 (1校区)	338 (2校区)	153 (2校区)
①妥当性		②協働の視点		③インパクト		④効率性	
○	美原区区民評議会の平成27年度答申に基づく事業である。	○	住民が主体となるワークショップや訓練を通じて、地域の実情に合わせた取り組みを実施することができた。	○	校区の地域住民が多数集まり、防災についてワークショップ形式で検討していく取組は、当該校区にとって初めての取組となっている。	○	業務を委託することで、ワークショップや訓練をスムーズに行い、短期間で効率良く取り組むことができた。
⑤自立発展性		総合評価					
○	地区防災計画を策定した校区については、今後自身で当計画や避難所運営マニュアル等をアップデートしていく予定である。	○	自主防災組織や地域の団体など、住民自らが訓練やワークショップを行うことにより、校区の現状や課題の分析と整理を行い、校区の実情に応じて防災の取り組みを進めることは、地域防災力の向上に大きく寄与するものである。				
今後の方向性(課題、改善提案等)							
拡充 継続 見直し 廃止	今年度、事業実施した2校区のうち、1校区は昨年度から引き続いて実施したもの。また、あと1校区は、既に地域が作成した素案を地域の方とともに確認している段階。 両校区ともに次年度降の策定に向け、引き続いて支援していく。 なお、当事業は自主防災、地域防災力の向上に資する事業であり、その進捗等については区内の自主防災組織間で共有することが有用との観点から、次年度からは「美原区自主防災連絡協議会」の事業として実施することとし、独立した事業としては廃止する。						